

研究レポート No.692 岩手県農業研究センター

水稻鉄コーティング直播の苗立ち安定化のポイント

【1 成果の概要】

- 鉄コーティング湛水直播では、播種後8日目から本葉1葉期まで落水管理を行うとともに、作溝により滞水を少なくすることで、健全な苗立ちが確保できます（図1、図2、図3）。
- また、鉄粉のコーティング量を乾籾の0.5倍重とすることにより、スズメ害を安定的に抑制できます（図4）。

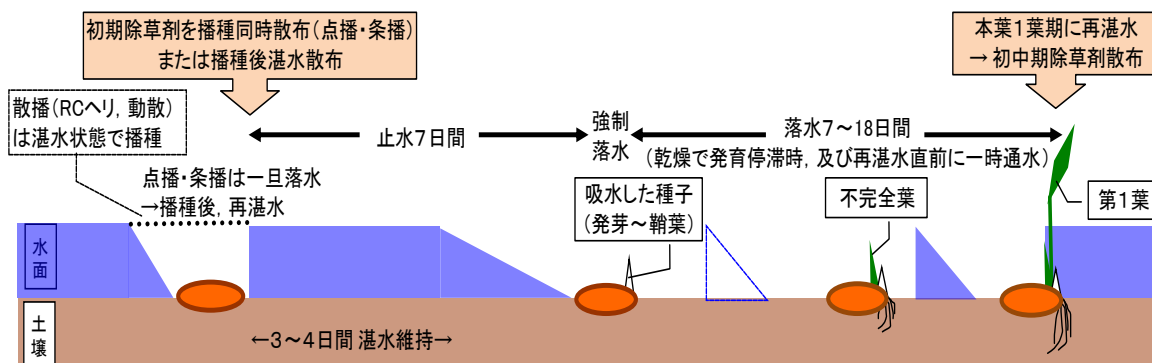


図1 播種後の水管理のイメージ

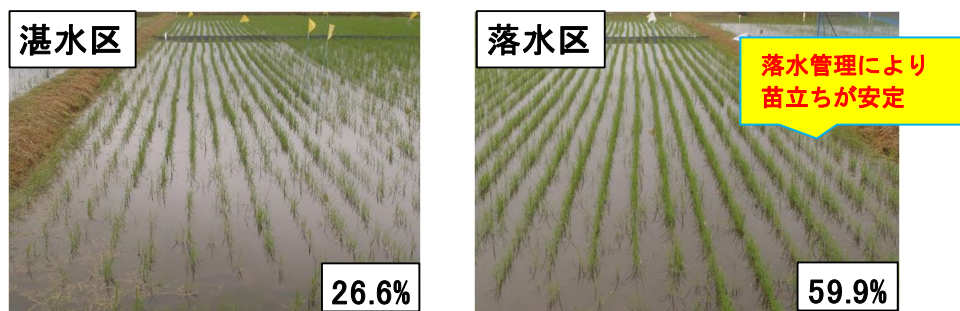


図2 播種後の水管理と苗立ち率

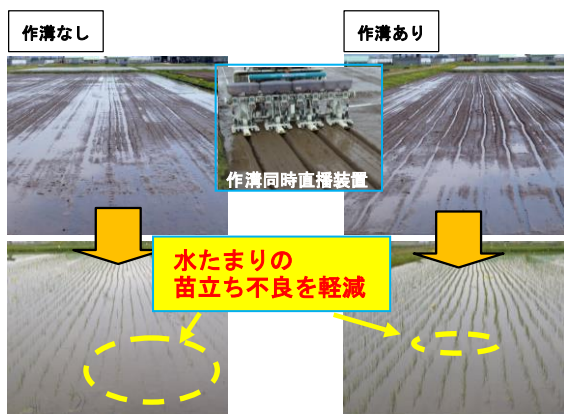


図3 作溝による苗立ちムラの軽減効果

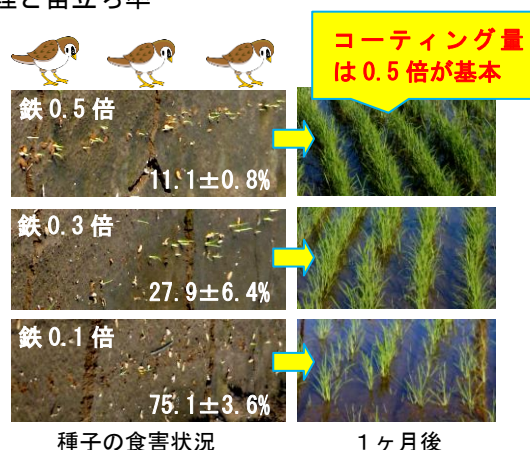


図4 コーティング量とスズメ食害の程度 (数字は被害苗率)

【2 留意事項】

- 鉄コーティング種子は土中に埋没すると苗立ちが悪くなるので、試し播きで種子が埋没しないことを確かめてから播種して下さい。播種時の田面の硬さは、通常の田植え時と同程度～やや硬めが目安です。
- 水稻除草剤の散布後7日間は強制落水できないため、播種の翌日以降に初期除草剤を散布する場合は、落水日を順次遅らせる必要があります。